USB Modem-PDC
取扱説明書

通信編

http://www.corega.co.jp/

目次

PN J613-M7039-01 Rev.A 000424

Windows98 でインターネットに接続する

ダイヤルアップネットワークの確認

Windows98に必要なソフトがインストールされていることを確認します。以下の手順でおこなってください。

1 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択してください。

2 「コントロールパネル」が開きます。「ネットワーク」をダブルクリックしてください。

3 「ネットワーク」設定画面が開きます。「現在のネットワークコンポーネント」で「Microsoftネットワーククライアント」、「ダイヤルアップアダプタ」、「TCP/IP」がインストールされていることを確認してください。

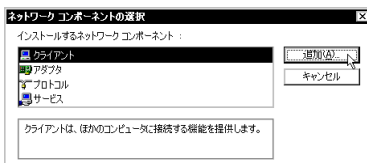
4 すべてインストールされている場合は3ページの「ダイヤルアップネットワークをインストールする」に進んでください。インストールされていないファイルがある場合は、この画面から次項の説明を参照してインストールしてください。

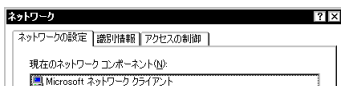
ネットワークコンポーネントをインストールする

■ Microsoftネットワーククライアントをインストールする

「Microsoft ネットワーククライアント」がインストールされている場合は、次項「ダイヤルアップアダプタをインストールする」に進んでください。

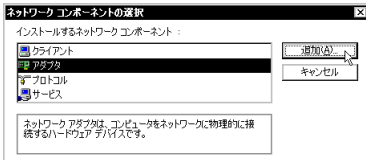
1 「ネットワーク」設定画面で「追加」ボタンをクリックしてください。

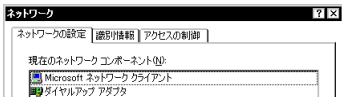
2 「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きます。「クライアント」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。

3 「ネットワーククライアントの選択」画面に切り替わります。製造元から「Microsoft」を選択し、「ネットワーククライアント」から「Microsoft ネットワーククライアント」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

4 「ネットワーク」設定画面に戻ります。「現在のネットワークコンポーネント」に「Microsoft ネットワーククライアント」が表示されていることを確認して、次項へ進んでください。

■ ダイヤルアップアダプタをインストールする

「ダイヤルアップアダプタ」がインストールされている場合は、次項「TCP/IP をインストールする」に進んでください。

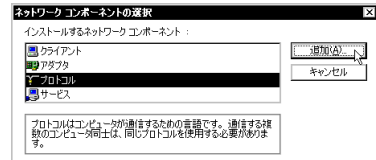
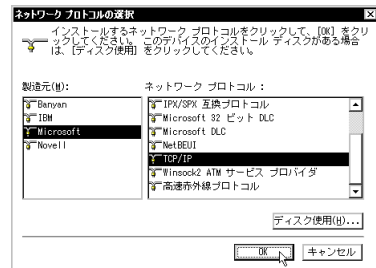
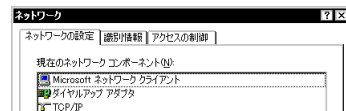
1　「ネットワーク」設定画面で「追加」ボタンをクリックしてください。

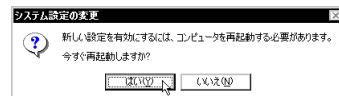
2　「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きます。「アダプタ」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。

3　「ネットワークアダプタの選択」画面に切り替わります。製造元から「Microsoft」を選択し、「ネットワークアダプタ」から「ダイヤルアップアダプタ」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

4　「ネットワーク」設定画面に戻ります。「現在のネットワークコンポーネント」に「ダイヤルアップアダプタ」が表示されていることを確認して、次項へ進んでください。

■　TCP/IP をインストールする

「TCP/IP」がインストールされている場合は、次項「新しいネットワーク設定を有効にする」に進んでください。

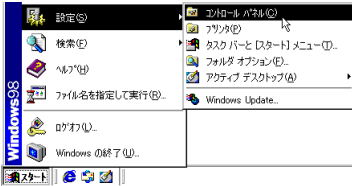
1　「ネットワーク」設定画面で「追加」ボタンをクリックしてください。

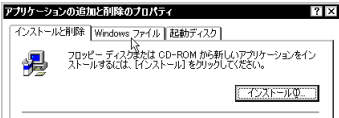
2　「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きます。「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。

3　「ネットワークプロトコルの選択」画面に切り替わります。製造元から「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」から「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

4　「ネットワーク」設定画面に戻ります。「現在のネットワークコンポーネント」に「TCP/IP」が表示されていることを確認して、次項へ進んでください。

■　新しいネットワーク設定を有効にする

必要な全てのネットワークコンポーネントを追加し、「OK」ボタンをクリックして「ネットワーク」を閉じると次のメッセージが表示されます。再起動してかまわなければ「はい」をクリックしてください。

ダイヤルアップネットワークをインストールする

「マイコンピュータ」の中に「ダイヤルアップネットワーク」があることを確認してください。ある場合は、「ダイヤルアップネットワーク」はすでにWindows98にインストールされています。5ページの「ダイヤルアップネットワークを登録する」に進んでください。

ない場合は、以下の手順で「ダイヤルアップネットワーク」のインストールをおこなってください。

1　「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択してください。

2　コントロールパネルが開きます。「アプリケーションの追加と削除」のアイコンをダブルクリックしてください。

3　「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面が開きます。「Windows ファイル」タブをクリックしてください。

4　「Windowsファイル」のページが最前面に出ます。「ファイルの種類」から「通信」を選択し、「詳細」ボタンをクリックしてください。

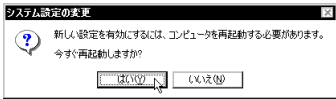
「通信」にすでにチェックが付いている場合は、チェックボックスをクリックしないでください。チェックマークが消されたまま「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」を終了すると、「通信」が削除されます。

5　「通信」画面が開きます。「ダイヤルアップネットワーク」にチェックを付けて、「OK」ボタンをクリックしてください。

チェックボックスをクリックせず単に「ダイヤルアップネットワーク」を選択しただけだったり、チェックボックスを2回クリックしたりした場合は、チェックボックスにはチェックマークは付きません。必ず「ダイヤルアップネットワーク」チェックボックスにチェックが付いていることを確認してください。

6　「ファイルのコピー」ダイアログが開き、ダイヤルアップネットワークのインストールが開始されます。

Windows98のマスターディスクが必要になる場合があります。各種設定を問い合わせてきますので、情報を入力してください。

7　インストールが終了すると次のメッセージが表示されます。再起動してかまわなければ「はい」をクリックしてください。

ダイヤルアップネットワークを登録する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダー(以下、プロバイダー)に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダーに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント(ID)、パスワード等を取得する必要があります。

インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダーに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

1 ネームサーバー(DNS)の IP アドレス
2 ドメイン名
3 接続アクセスポイントの電話番号
4 接続アカウント(ログイン名)
5 パスワード

プロバイダーに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、ご使用の環境に応じて、以下の手順に従ってダイヤルアップネットワークを設定してください。

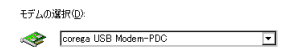
■ プロバイダーの登録

1 「マイコンピュータ」の「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。

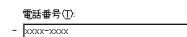
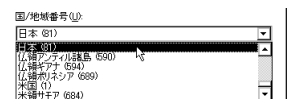
2 「ダイヤルアップネットワーク」のダイアログが開きます。「新しい接続」をダブルクリックしてください。

3 「新しい接続」画面が開きます。「接続名」入力欄に接続先の名称を入力してください。

接続名は、契約プロバイダ名などの判りやすいものが良いでしょう。

4 「モデムの選択」のプルダウンメニューから「corega USB Modem-PDC」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックしてください。

5 接続先の電話番号設定画面に切り替わります。

6 「市外局番」に接続先の市外局番を入力して下さい。

7 「電話番号」に接続先の電話番号を入力してください。

8 「国番号」のプルダウンメニューから「日本(81)」を選択してください。

9 「次へ」ボタンをクリックしてください。「新しいダイヤルアップネットワーク接続が次の名前で作成されました」というメッセージが表示されます。

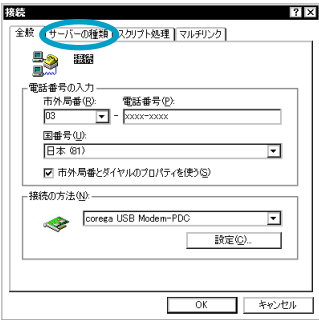
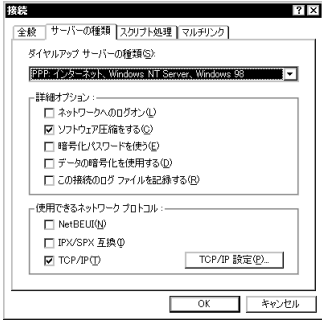
10　「完了」ボタンをクリックしてください。登録が完了すると「ダイヤルアップネットワーク」のフォルダに登録した接続先名が加わります。

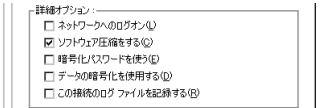
■　プロバイダーの設定

登録したダイヤルアップネットワークがインターネット接続できるように設定をおこないます。

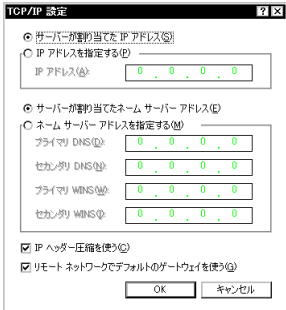
1　新しく登録した接続先のアイコン上でマウスを右クリックしてください。

2　メニューが表示されます。メニューから「プロパティ」を選択してください。

3　接続先の情報設定画面が開きます。「サーバーの種類」タブをクリックしてください。

4　「サーバーの種類」設定画面が表示されます。

5　「サーバーの種類」プルダウンメニューの中から「PPP:インターネット、WindowsNT Server、Windows98」を選択してください。

6　「詳細オプション」の中から「ソフトウェア圧縮をする」だけにチェックを付けてください。

7　「使用できるネットワークプロトコル」の中から「TCP/IP」だけにチェックを付けてください。

使用できるネットワーク プロトコル：
NetBEUI(N)
IPX/SPX 互換(I)
TCP/IP(T)　TCP/IP 設定(P)...

8　「TCP/IP設定」ボタンをクリックしてください。「TCP/IP設定」画面が表示されます。

9　IPアドレスは、「サーバーが割り当てたIPアドレス」にチェックを付けてください。

10　ネームサーバアドレスは、「ネームサーバーアドレスを指定する」にチェックを付けてください。

11　「プライマリ DNS」入力欄にプロバイダーから通知されたネームサーバー（DNS）の IP アドレスを入力してください。

12　「OK」ボタンを順番にクリックして、「ダイヤルアップネットワーク」のプログラムグループに戻ってください。

以上で、ダイヤルアップネットワークの登録は完了です。

接続方法

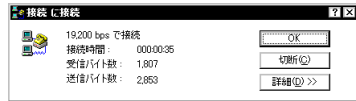
1　先程の設定で作成したアイコンをダブルクリックしてください。

2　接続先のダイアログボックスが表示されます。

3　「ユーザー名」に接続先のプロバイダーの接続アカウント（ログイン名）を入力してください。

4　「パスワード」に接続先のプロバイダーのパスワードを入力してください。

5　「接続」ボタンをクリックしてください。接続が開始されます。

6　うまく接続できると、下の様になり「接続時間」がカウントアップしていきます。

以上で、インターネットへの接続は完了しました。WWW ブラウザーやメールソフトなどのインターネットアプリケーションソフトが使用可能になります。

ダイヤルアップネットワークで接続をおこなう前に直接インターネットアプリケーションソフトを起動した場合、ダイヤルアップネットワークが自動的に起動してダイヤルをおこない、インターネットに接続した後でインターネットアプリケーションソフトが立ち上がります。

■　うまくいかないときは…

接続できない場合

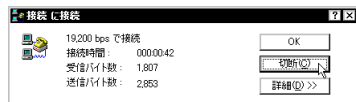
- 6 ページの 3 の図で「接続の方法」に「corega USB Modem-PDC」と表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、「ダイヤルアップネットワークを登録する」の手順をやり直してください。
- 同じ番号を3回以上続けてダイヤルしていないことを確認してください。技術基準の規定により、3分以内に同じ番号を再ダイヤルできるのは2回までに制限されています。3分以上後にダイヤルしてください。
- 接続プロバイダーの DNS（ネームサーバー）の IP アドレスの設定が正しいことを確認してください。
- 接続アクセスポイントの電話番号の設定が正しいことを確認してください。
- 正しいユーザー名、パスワードを入力していることを確認してください。

何度でも「回線が使用中です」となる場合

- 接続先の市外局番とダイヤルのプロパティの所在地情報の市外局番が同じ場合は、所在地情報の市外局番を任意の他番（例：999 など）に変更してください。

■　切断

回線を切断する場合は、「切断」ボタンをクリックしてください。

注意

重要:通信終了後は必ず携帯電話の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、携帯電話のフックボタンを押して回線を切ってください。

Macintosh でインターネットに接続する

インターネットに接続する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダー(以下、プロバイダー)に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダーに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント(ID)、パスワード等を取得する必要があります。

インターネットに接続するためには、接続されるプロバイダーに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

1 ネームサーバー(DNS)の IP アドレス
2 ドメイン名
3 接続アクセスポイントの電話番号
4 接続アカウント(ログイン名)
5 パスワード

■ 必要なソフトウェア

Macintoshを使用してインターネットに接続するためには、TCP/IP と、以下の PPP ソフトウェアが必要です。

PPP ソフトウェアとしては、Mac OS に標準添付されているリモートアクセス(または Open Transport/PPP)を利用できます。※

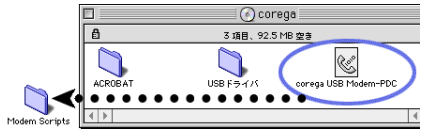
※ Mac OS 8.1 では「PPP」、Mac OS 8.5 以降は「リモートアクセス」になります。

リモートアクセスのかわりに FreePPP などを利用することもできます。

その他、WWW ブラウザーやメールソフト等のご使用になりたいアプリケーションをインターネット関連の雑誌やBBSから入手してください。

■ CCL ファイルのインストール

リモートアクセスを利用するためには、製品に添付のCCLファイルをインストールする必要があります。

1 ご使用の Macintosh の「システムフォルダ」の「機能拡張」の「modem Scripts」の中に、この製品に添付されている CD-ROM の中から「corega USB Modem-PDC」をドラッグコピーします。

以上で、リモートアクセスで本製品を利用して通信できます。

■ リモートアクセスの設定

1 システムフォルダの中のコントロールパネルの中にリモートアクセス(またはPPP)があります。ダブルクリックして起動します。

2 ウィンドウメニューの「リモートアクセス」から「モデム ...」を選びます。

3 「経由先」から本製品(corega USB Modem-PDC)を選択、または確認します。

4 「モデム」から「corega USB Modem-PDC」を選択します。

5 「ダイアル」から「トーン」を選択します。

6 「モデム」設定画面を閉じます。

7 「名前」に接続アカウント(ログイン名)を入力します。

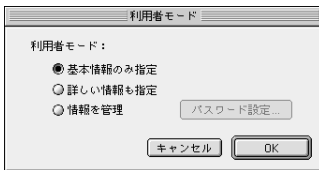
8 「パスワード」を入力します。

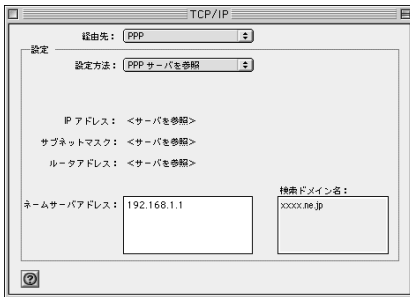
9 「電話番号」を入力します。

10 「リモートアクセス」を閉じます。

■ TCP/IP の設定

1 システムフォルダ(あるいはアップルメニュー)の中のコントロールパネルの中にTCP/IPがあります。ダブルクリックして起動します。

2 「編集」メニューから「利用者モード」を選択します。

3 「基本情報のみ指定」を選択して「OK」ボタンをクリックします。

4 「経由先」メニューから「PPP」を選択します。

PPPが表示されない場合は、システムフォルダの機能拡張の中にOpenTpt Remote Accessが入っていることを確認してください。

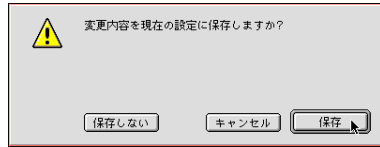
5 「設定方法」メニューから「PPPサーバを参照」を選択します。

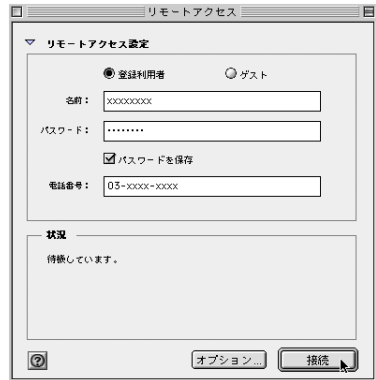
6 「ネームサーバアドレス」を入力します。

契約したプロバイダーから指定されたドメインネームサーバー(DNS)の IP アドレスを設定します。

7 「検索ドメイン名」を入力します。

8 TCP/IP を閉じてください。

9 以下のメッセージが表示されます。「保存」ボタンをクリックします。

■ 接続

1 リモートアクセスを開きます。

2 「接続」ボタンをクリックします。接続が始まります。プロバイダーに接続されると「状況」に「接続が確定しました」と表示されます。

以上で、インターネットへの接続は完了しました。WWW ブラウザーやメールソフトなどのインターネットアプリケーションソフトが使用可能になります。

3 回線切断は、「解除」をクリックします。

重要:通信終了後は必ず携帯電話の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、携帯電話のフックボタンを押して回線を切ってください。

■ うまくいかないときは…

接続できない場合

- 技術基準の規定により、3分以内に同じ番号を再ダイヤルできるのは2回までに制限されています。同じ番号を3回以上再ダイヤルする場合は、3 分以上後におこなってください。
- 接続プロバイダーの DNS(ネームサーバー)の IP アドレスの設定が正しいことを確認してください。
- 接続アクセスポイントの電話番号の設定が正しいことを確認してください。
- 正しい名前、パスワードを入力していることを確認してください。

トラブル対処法

通信できない、あるいは本装置が正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、故障と考える前に、症状に応じて以下の点を確認してください。

インストールできない場合

- 「不明なデバイス...」として認識されず、インストールができない場合は、本製品の USB コネクターをパソコンの USB ポートから抜いた状態で、パソコンを再起動し、デスクトップ画面が表示されてから USB コネクターをパソコンの USB ポートに差し込んでください。

通信ソフトから画面にAT ↵と入力した文字が表示されない場合

- 本装置とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。
- 接続しているパソコンの電源が入っているか確認してください。
- 本装置を接続してドライバーがインストールされているか確認してください。
- 通信ソフトで COM ポートの設定が合わせてあることを確認してください。
- パソコンによっては、パソコンのサスペンド後または本装置を接続するたびに本装置が使用しているポート番号(COM の番号)が変わることがありますのでポート番号を確認し、違っている場合は正しく設定してください。
- 通信ソフトの画面から入力していることを確認してください。
- ATZ ↵と入力した後、再度AT ↵と入力してみてください。
- USB接続タイプのモデムやTA、イーサネットアダプターなどと同時につないで動作させないでください。正しく動作しない場合があります。

通信ソフトから画面にAT ↵と入力した文字が文字化けして表示される場合

- 通信ソフトで、端末の通信速度を本装置が認識できる速度(例えば 9600bps)に設定してください。

通信ソフトからの入力が受け付けられない場合

- 入力文字が半角英数字で入力されていることを確認してください。「かなロック」がかかっている場合は解除してください。FEP(漢字かな変換プログラム)が起動している場合は、入力を半角英数字に切り換えるか、FEP を終了させてください。

AT ↵と入力した後、画面に OK と表示されない場合

- ATZ ↵と入力した後、再度AT ↵と入力してみてください。

ダイヤルした後 NO DIALTONE と表示される場合

- 本装置が携帯電話と正しく接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、接続してください。

ダイヤルした後 NO CARRIER と表示される場合

- 屋内や地下街、トンネル、新幹線の中など、携帯電話のサービスエリア外や電波状態が悪いところでは、通信できない場合があります。携帯電話から通常に電話して、通信できることを確認してみてください。
- 技術基準の規定により、3分以内に同じ番号を再ダイヤルできるのは、2 回までに制限されています。3 分以上してからもう一度かけなおしてください。
- 端末通信速度が高速すぎる可能性があります。通信ソフトで通信速度を 9600bps などに変えて、もう一度かけなおしてください。
- 電話番号が正しく入力されていることを確認してください。誤った番号を入力していた場合は、接続相手先の電話番号を確認し、もう一度かけなおしてください。
- 接続先が同一市外局番内でも市外局番からダイヤルしてください。

自動着信できない場合

- S レジスタ 0 の値が 0 に設定されていないことを確認してください。0 の場合は 2 などの値に変更してください。

ダイヤルした後 BUSY と表示される場合

- 相手は通信中です。しばらくしてから再度かけ直してください。
- 接続先が同一市外局番内でも市外局番からダイヤルしてください。

CONNECT と表示された後、すぐに NO CARRIER と表示される場合

- 電波状態が悪いため、通信できない場合があります。携帯電話から通常に電話して、通話できることを確認してみてください。

通信中に文字化けが起こる場合

- ご使用の通信ソフトでデータフォーマット(データ長、パリティビット、ストップビットの設定)の設定をホストに合わせてください。
- ご使用の通信ソフトで通信速度を遅くしてみてください。

接続するがデータの転送ができない場合

- 通信相手の回線状況が不安定である可能性があります。回線状況の良い場所で通信をおこなってください。
- 通信ソフトで端末通信速度を遅くしてみてください。

インターネットに接続できない場合

- 接続プロバイダーの DNS の IP アドレス設定が正しいか確認してください。
- 接続先のアクセスポイントの電話番号が正しいか確認してください。
- 正しいユーザー名、パスワードを入力していることを確認してください。
- 市外局番からダイヤルしていない場合は、市外局番からダイヤルしてください。

リファレンス

AT コマンドの入力方法

● **AT で始まります。**

パソコンから AT で始まる文字列が送られると、自動的に通信速度とデータフォーマットを判別します。AT に続いてコマンドとパラメーターを入力し、最後に ↵キーを押す(CRコードを送る)と、コマンドが実行されます。

例　　ATZ1 ↵(ソフトウェアリセットを実行します。)

● **AT に続けてコマンドとパラメーターを合計 50 文字まで入力できます。**

ATと ↵キー入力の間に、複数のコマンドを連続して入力できます。

コマンドとパラメーターは最大50文字(CRは含まない、LFは省略可)まで入力できます。

例　　ATZ1V0D001-0123 ↵

Z1はソフトウェアリセット、V0はリザルトコードを数字に設定、D001-0123は「001-0123」にダイヤルを意味します。

AT コマンド設定一覧表

● **コマンドの後の n はパラメーターを示します。**

● **下線で表記されているパラメータは出荷時設定値を示します。**

コマンド	機能	パラメーター	内容
A/	直前のコマンドを再実行 入力後に↵キーは不要	−	
AT	端末速度,データフォーマットを認識する	−	出荷時9600bps/8bit/パリティなし
ATA	強制着信動作を行う	−	
ATDxxx	発信動作を行う	0〜9	電話番号
		*\/#	
		L	直前の電話番号を再ダイヤル
		;、V	ダイヤル終了後音声モードに移行
ATEn	コマンドエコーの設定 端末からモデムに送信したデータを、端末にエコーバックさせます。	0	コマンドエコーなし
		1	コマンドエコーあり
ATHn	回線接続の制御	0	モデムーオンフック
		1	モデムーオフフック
		2	エスケープモードから通話モードに移行
ATIn	装置コード、ROMバージョンの表示	0	通信速度表示
		1	ROMのチェックサムの表示
		2	ROMのテスト結果の表示
		3	ROMのバージョン表示
		4	識別コード表示
ATFn	公衆回線接続モード	0	自動検出
		1	V.21/BELL103　300bps
		3	V.23　75bps/1200bps
		4	V.22/BELL212A　1200bps
		5	V.22bis　2400bps
		6	V.32bis/V.32　4800bps
		7	V.32bis　7200bps
		8	V.32bis/V.32　9600bps
		9	V.32bis　12000bps
		10	V.32bis　14400bps
ATOn	通信状態へ移行する エスケープモードからの動作を設定します	0,1	エスケープモードからオンラインモードへ移行する
ATQn	リザルトコードの設定	0	リザルトコードあり
		1	リザルトコードなし
ATSn	Sレジスタの表示、設定		レジスタ番号nが省略されたときは、ATSnで設定したレジスタ番号nが操作の対象になります。初期状態はn=0となります。
	ATSn=[設定値]		設定
	ATSn?		表示
ATVn	リザルトコードの表示形式を設定	0	数字形式
		1	単語形式
ATWn	CONNECTメッセージの表示形式を設定	0	端末速度を表示
		2	回線速度を表示
ATXn	通信速度の表示、BUSY/ダイヤルトーン検出の設定	0	通信速度表示なし、BUSY／ダイヤルトーン検出なし
		1	通信速度表示あり、BUSY／ダイヤルトーン検出なし
		2	通信速度表示あり、ダイヤルトーン検出あり
		3	通信速度表示あり、BUSY検出あり
		4	通信速度表示あり、BUSY／ダイヤルトーン検出あり
ATZ	現在の設定を工場出荷時の設定に初期化する	−	
AT&Cn	CD信号の制御	0	CD信号常時ON
		1	CD信号は相手モデムのキャリアに従う
AT&Dn	ER信号の制御	0	ER常時ONとして動作する
		2	通信中にERオン→オフで回線切断
AT&F	現在の設定を工場出荷時の設定に初期化する	−	
AT&Kn	DTEポートフロー制御	0	なし
		3	RS/CSフロー制御
AT&Sn	DR信号制御	0	DR信号常時ON
		1	通信プロトコルのシークエンスに従う
AT&V	ステータス情報／短縮ダイヤル	−	現在のステータス情報を表示する
AT\Nn	動作モードの制御 9600bps高速通信時のみ有効	0,1	バッファモード
		2	V.42/MNP自動切替リライアブルオンリーモード
		3	V.42/MNP自動切替オートリライアブルモード
		4	V.42リライアブルオンリーモード
		5	MNPリライアブルオンリーモード
AT\Xn	MNPクラス10の設定 9600bps高速通信時のみ有効	0	クラス10有効
		1	クラス10無効
AT%Cn	データ圧縮方式の設定 9600bps高速通信時のみ有効	0	なし
		1	MNP5
		2	V.42bis
		3	V.42bis/MNP5自動切替
AT^Rn	発信者番号表示 着信があった場合、相手側の電話番号を表示（相手側が発信番号通知をおこなっている場合のみ）	0	なし
		1	あり
AT^Sn	発信番号通知 発信する場合、電話をかけた相手側に自分の電話番号を通知	0	なし
		1	あり
+++AT	エスケープモードに移行 +++の前にはATは不要		回線を接続したままコマンド入力可能になります。ATOコマンドで復帰します。

S レジスタ設定一覧表

レジスタ番号	機能	設定範囲
S0	自動着信回数の設定	0〜255　(0)
S30	アボートタイマの設定（単位：10秒）	0〜255　(0)

リザルトコード一覧表

数字形式	単語形式	意味
0	OK	コマンドが正常実行された
1	CONNECT	接続完了
2	RING	着信が検出された
3	NO CARRIER	回線切断
4	ERROR	コマンドエラー
5	CONNECT 1200	1200bps接続
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンが検出できなかった
7	BUSY	話中音が検出された
9	CONNECT 600	600bps接続
10	CONNECT 2400	2400bps接続
11	CONNECT 4800	4800bps接続
13	CONNECT 7200	7200bps接続
12	CONNECT 9600	9600bps接続
14	CONNECT 12000	12000bps接続
15	CONNECT 14400	14400bps接続
16	CONNECT 19200	19200bps接続
17	CONNECT 38400	38400bps接続
24	DELAYED	リダイヤルエラー